



女性部会では、毎年フォーラムを開催しています。今年は去年に引き続き「紙が変身ミニハウス」をテーマに、2月25日(日)、福山市北部市民センターで開催いたしました。親子連れなど幅広い年齢層の方々が参加してくださいました。

会場の周辺地区には、桜並木と蜚で有名な服部大池があります。その一画を想定し、参加者の皆さんが作成したミニハウスで町並みを作っていました。今年も講師は広島県立府中東高等学校の原田洋臣先生に務めていただき、生徒さん2名にもご協力いただきました。

今年のミニハウスは去年よりもバージョンアップ！平屋、2階建て、斜め屋根の3種類を用意して臨みました。まず、自分たちのミニハウスを作っていました。小さい子どもたちはお父さんやお母さんに手伝ってもらいながら、大人も熱中して一生懸命に作りました。自分用の敷地は思い思いの工夫ができるように、折り紙やモール、割りばしなどを用意しましたが、それらを使って組み立てたり貼ったり…さまざまな発想でミニハウスを作り上げていく参加者の皆さんに驚きました。

作品が出来上がったところを見計らって、服部大池を想定した敷地を分譲するための抽選を行いました。まるで本当の敷地分譲抽選を行っているかのように、ドキドキ、ワクワク。一番札の人から順に名前と、作品で力を入れたところを発表してもらいました。工夫を凝らしたミニハウスばかりで驚かされました。中には衛星アンテナやソーラーパネル、地球温暖化に配慮して緑化を行った作品などもありました。3歳くらいの女の子もちゃんと自分の作品について感想を言ってくれました。

みんなが発表し終わったとき、ついに服部大池の町並みが完成。一人一人の家が町並みを形作っていくことに驚かれた方も多いようでした。そして最後には、蜚（小さいライトを点滅させたもの）も飛んで、とても盛り上がりしました。

参加者皆さんの発想に驚かされたフォーラムになりました。来年はまた違う形でミニハウスを展開していく予定です。ぜひ参加してみてください。



表紙写真について



「Uクリニックビル」

- 設計／(有) 生駒建築設計事務所
- 施工／(株)堀田組
- 所在地／尾道市高須町
- 規模／地上5階
- 構造／鉄骨造
- 敷地面積／691.4㎡
- 延床面積／1034.5㎡
- 竣工／2007年3月

JR東尾道駅前に建つクリニックビルである。当地区は尾道でも人口の増加が著しく、若い家族の住居や店舗の進出が激しい活気あるエリアである。

内部は1、2階をそれぞれ小児科、眼科。3階を管理センター（将来はクリニックに改装）。4、5階は2戸の医師住宅として計画した。小児科はアットホームな雰囲気のデザインにし、医療臭を排除することに努めた。患者動線と従業員動線を分離し、待合室を中心に患者を一方向の流れとすることで効率よく治療を受けられるプランとした。

ファサードは建物の用途とボリュームによる威圧感をなくすように心がけ、アルミ板加工の3枚の庇で軽快感を出し、雲型パターンで動きをつけた。外壁はグレーの濃淡でシックに装い景観に配慮することとした。

お知らせ 変更届けは提出していますか？

建築士の登録事項には下記のような種類があります。新規登録をしなければ、「建築士」とはいえないのは当然ですが、その後に、登録している事項が変更になれば届出をすることも義務付けられています。建築士の手続の種類には、概ね下記のようなものがあります。

1. 免許申請（新規登録）
2. 登録事項変更（免許証記載事項の変更）
【氏名、本籍】
3. 再交付申請
4. 住所・勤務先等の届出
5. 免許取り消し申請
6. 後見開始・保佐開始の審判届
7. 死亡（失そう宣告）届

特に、住所・勤務先が変わっても届出を出されていない方が大変多いです。今後、建築士法の改正もあり、建築士としての正確な登録要件は非常に重要となります。また、免許証を紛失されている方も必ず再交付手続きを行ってください。詳しい手続きの方法は、一級は国土交通省のホームページ、木造・二級は登録している県のホームページに載っています。各種届出用紙もダウンロードできます。なお、国土交通省、広島県の該当ページは、広島県建築士会ホームページのリンク集から直接アクセスできるようにしていますので、ぜひご利用ください。

<http://www.k-hiroshima.or.jp/link/index.html>

広島県での申請書、変更届の窓口は下記です。

■一級建築士

広島県建築士会の本部及び支部で受付けています。申請書もあります。住所・勤務先の変更のみでしたら、郵送でも構いません。

■木造建築士・二級建築士

広島県都市部都市事業局建築指導室

広島市中区基町 10-52 県庁舎北館5階

☎ 082-513-4184



社団法人 広島県建築士会

〒730-0052 広島市中区千田町3-7-47 広島県情報プラザ5F
TEL (082) 244-6830(代) FAX (082) 244-3840
mail : info@k-hiroshima.or.jp
URL : <http://www.k-hiroshima.or.jp/>

あなたの作品で表紙を飾ってみませんか？

随時、表紙用の写真を募集しています。写真(プリント、ボジ、データ)2～3点を設計概要、設計趣旨(400字程度)と一緒に送ってください。会員の皆様からのご応募をお待ちしています。

第33回支部対抗ボウリング大会

交流厚生委員長 河野 房子

平成19年2月24日(土)、広島市中区の「ボウル国際」で恒例の支部対抗ボウリング大会を開催しました。各支部予選を突破した各6名の選手、計42名に、叱咤激励とともに熱いエールを送り続けた応援団が加わり、60数名が大会に挑みました。

レーンに各支部の老若男女が入り乱れて、ゲームがスタート。昔取った杵柄で、1ゲーム目はフォームも点数も若者に劣らない壮年者。しかしさすがに3ゲーム

目ともなると体力の消耗が激しく、実力が発揮できなかったようです。そしてハンディキャップを返上してほしいと思わせる、女性選手の活躍。マイペースにゲームをこなす、マイボール・マイシューズ持参の熟練選手。「自分もゲームをしたい」と、顔の表情に表れていた応援団



たち。皆さんご苦労さまでした。支部同士の交流も図れ、これからの活動の糧になりました。

和気あいあいのうちにゲームが終了。



団体優勝は広島支部、2位は東広島支部、3位は福山支部でした。個人優勝は広島支部の平賀克則氏、2位は東広島支部の梶川進氏、3位は広島支部の光宗氏。そして、福山支部の大角成美氏が女性部門の1位。さすが毎年選出される実力者でした。

その後のミーティング会場では、来年度担当の福山支部が、「打倒広島支部」を宣言。来年度が楽しいミーティングになりました。最後になりましたが、この大会を運営していただいた広島支部の皆様、お疲れさまでした。



お知らせ 素材アンケート『素材のゆくえ』のお願い

社会活動委員会 女性部一同

平成17年度の全国女性建築士連絡協議会で、「地域で使われている身近な素材」と題して、素材を集める企画がありました。私たちも広島県の素材をいくつかマップに貼り付けました。今回、連合会女性委員会からの呼びかけで、PARTⅡ『素材のゆくえ』として、その素材がどのように使われているかという観点から資料集めをしたいと思っております。今年7月13・14日に青森県で開催されます、全国女性建築士連絡協議会で発表したいと思しますので、より多くのご協力をお願いいたします。

区分 ① 木材(樹種)

② 石材(種類)

③ 屋根材(瓦等一般名称)

④ 左官材(漆喰等の一般名称)

⑤ 表面仕上げ材(塗料・柿渋・蜜蝋等の一般名称)

⑥ 壁材(和紙・織物等の一般名称)

⑦ 建具材(木製サッシ等の一般名称)

⑧ 炭(竹炭等の一般名称)

⑨ いぐさ・畳(一般名称)

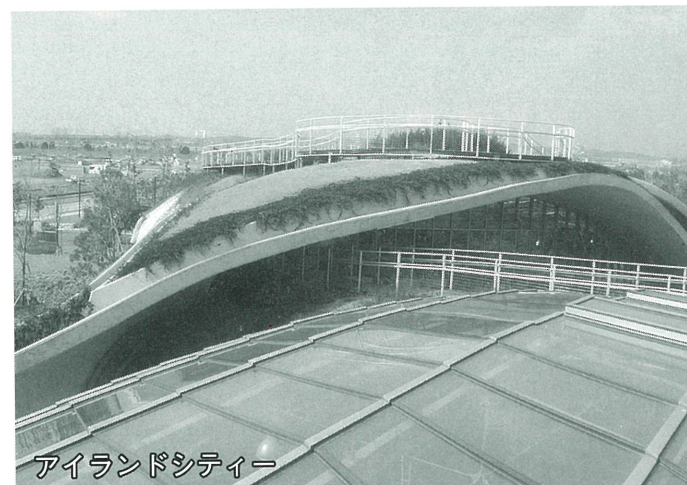
⑩ その他(鋼材・ガラス・陶器・レンガ・タイル等の一般名称)

産地 ① 県名

② 地方名、市町村名など

記入例と記入用紙はホームページからダウンロードできますが、書式は自由で構いませんので、内容と写真を支部事務局にお送りください。たくさんのご応募をお待ちしています。

広島支部見学委員会 津田 正明



2月10日(土)、18名の参加者は広島駅から一路、北九州に向かいました。最初の見学地「アイランドシティ」は博多湾を埋め立てた約400ha(ヤフドーム100個分)という広大な敷地にあります。ここでは、中央公園の中核施設「ぐりんぐりん」の自由局面のシェル構造を採用した建築を見学しました。次に「九州国立博物館」へ。東京、京都、奈良に次ぐ4番目の国立博物館です。屋根の一番高い所は36mもあり迫力満点。1Fは吹き抜けのある広いエントランスホールと約300席のミュージアムホール。3Fは特別展示室で木の色がベースの落ち着いた空間です。4Fには文化交流展示室があり、博物館特有の照明演出が印象的でした。

2日目は午前9時に宿を出発し、「県立日田高校体育館」へ。木造トラスの体育館は、ふんだんに使われた杉材に

より、温もりのある空間を作り出していました。

「コアやまくに」は行政・文化・遊び(交流)の情報を発信する複合施設。豊かな四季の移り変わりを感じながら人々が交流できる建築物に、大いに感銘を受けました。

見学地の最後は新北九州空港。カーテンウォールに彩られたガラス張りのターミナルビルからは豊かな風景が楽しめ、自然光を最大限に活用することで照明エネルギーの低減など、環境面への配慮が感じられました。

駆け足で盛りだくさんの旅でしたが、さまざまな建築物の息吹を肌で感じる事ができ、会員相互の交流も兼ねた有意義な2日間となりました。次回はもっと多くの皆さんに参加していただけるよう、テーマのある見学を企画いたします。ぜひご参加ください!!



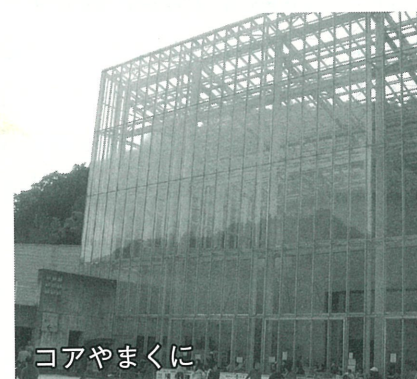
新北九州空港



九州国立博物館



県立日田高校体育館



コアやまくに

「これからのまちづくりの担い手とは」

広島支部まちづくり委員会 福馬 晶子



延藤安弘先生

広島支部まちづくり委員会では平成19年2月17日(土)、都市計画学会、建設コンサルタンツ協会、建築学会などと共に、「ひろしままちづくりフォーラム2007」と講演会の2本立てで、シンポジウムを開催いたしました。

ユーコートで有名な延藤安弘先生は、幻灯と称される2台建てのスライドを使用し、紙芝居のような温かみを感じさせるスタイルで話を進められました。

まずは、基準や杓子定規ではなく、対話でまちをつくるという寓話を話されました。絵本になっていてとても分かりやすい内容でした。高知県香南市のまちづくりの事例は、子供からお年寄りまでがタカラ(地域資源)探しやイベント、古い建物を利用した地域の本拠地を通じて、ほのぼのとしたその地域らしいまちの情景をつくっているというものでした。そして京都市洛西のユーコートは、緑が自然に育ち、中庭で祭りなどのイベントを行い、共用部分はさまざまな使い方をされています。ここでのびのびと育った子供たちは、ユーコートを故郷とし、Uターンしているそうです。

横堀肇先生からは、浦安市の「まちづくりがわかる本」を作成するまでに、まち歩きをしたり、小・中学校で読ませることでより理解の進む本を目指したなど、本を作る際にまちづくりの手法が使われたというお話がありました。

その後、広島のまちづくりで有名な可部、横川、コイン通り、草津、佐東のまちづくりの事例発表を、それぞれのまちづくり団体から紹介され、延藤先生からの講評をお聞きしました。そして「広島風」の作法として、「ひ」しかれた地縁・支援・志縁。「ろ」んりも大切、楽しい活動はもっと大切。「し」くみなりきを超えて遊び心・冒険心。「ま」ちのタカラ(地域資源)を生かし、文化的活動と誇りを耕す。「フ」ェンを内外に増やす・表現アートをつなぐ・体験を表現につなぐ・自分たちの力を自覚。「う」きうき生命の連鎖・再生・活動は多世代連携。これらの言葉をプレゼントとしていただきました。

130人余りにも及ぶ来場者があり、熱気のあるイベントとなりました。この熱気と延藤先生から贈られた言葉を大切に、「ひろしまふう」まちづくりに生かしていければと思います。



4 April

- 1 日・二級・木造建築士試験インターネット受付(～6日まで)
- 2 月・二級・木造建築士受験申込書配布(～13日まで)
- 9 月・二級・木造建築士試験対面受付(～13日まで)
- 10 火・青年部例会(呉地区支部)
- 12 木・総務委員会(呉地区支部)
- 16 月・一級建築士試験インターネット受付(～27日まで)
- 18 水・女性委員会例会(呉地区支部)
- 21 土・一級建築士製図試験対策講座
- 22 日(福山支部青年部会)
- 23 月・一級建築士受験申込書配布(～5月11日まで)
- 26 木・役員会(呉地区支部)

5 May

- 7 月・一級建築士試験対面受付(～11日まで)
- 8 火・改正建築士法の講習会 広島①
・青年部例会(呉地区支部)
- 10 木・改正建築士法の講習会 福山
- 11 金・県北支部定時総会
- 12 土・福山支部定時総会
- 14 月・改正建築士法の講習会 広島②
- 15 火・第1回理事会
- 17 木・呉地区支部定時総会
- 18 金・尾道支部定時総会
- 19 土・広島支部定時総会
・東広島支部定時総会
- 24 木・女性委員会例会(呉地区支部)
- 26 土・平成19年度建築士会定時総会
・三原支部定時総会